

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名【新】家畜衛生指導情報機器整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内4159)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 343 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	343	0	0	0	0	0	0	0	343
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

安全な国産畜産物の安定供給に向けて飼養衛生管理の向上を図る必要があることから、生産者が明確な工程で取り組めるよう支援体制を強化する目的で、国において、家畜の飼養衛生管理に関する情報を管理・共有するシステムの開発が、令和7年度まで段階的に進められている。

県業務においても、これまでは農場指導等において聞き取り、確認したデータの取りまとめ、報告等をする際に手間がかかっており、検査結果並びに分析結果の農場への速やかなフィードバックにも時間を要している。

(2) 事業内容

令和5年度より農場立入指導用のタブレット端末を年5台ずつ整備し、令和7年度までに家畜保健衛生所から出張する公用車等に配備されるよう、計15台の確保を目指す。

(3) 県負担・補助率の考え方
県の全額負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	343	消耗品費
合計	343	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（R1～5）
2 健やかで安らかな地域づくり
（2）安らかに暮らせる地域
④災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・「ぎふ農業・農村基本計画」（R3～7）
（2）安心して身近な「ぎふの食」づくり
④家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

(2) 国・他県の状況

国において、家畜の飼養衛生管理に関する情報を管理・共有するシステムの開発・整備について、令和7年度まで段階的に進められている。

(3) 後年度の財政負担

3年間かけ必要台数を整備するほか、毎月の通信料が今後も継続して必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県として、国が整備する飼養衛生管理システムを利活用するため、対応可能な通信機器を、自ら整備する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

農場立入指導用タブレット端末を必要数導入することで、データの収集・管理や利活用を通じて、生産者に飼養衛生管理の目標を示し、より明確な工程で取り組めるような体制整備を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	
					達成率	
①農場立入指導用タブレット端末台数	—	—	—	5	15	0%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	※令和5年度新規事業 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	※令和5年度新規事業 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>国を挙げてデジタル化を推進し、農林水産省も飼養衛生管理にかかるシステムを構築している中、県としても速やかに対応できるよう、機器整備等を実施する必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 必要台数を導入以降は、端末を継続して使用することとなるが、ソフトウェアアップデートや耐用年数の経過等に対応する必要もあることから、機器更新等が不定期で必要となる可能性がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国の飼養衛生管理システム構築に併せ、県業務への速やかな活用を図るよう取り組む。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	<p>【〇〇課】</p>